

VMware vRealize Automation: Install, Configure, Manage (VMware vRealize Automation: インストール、構成、管理)

コースについて

このコースでは、VMware vRealize® Automation™ のインストール、構成、管理について説明します。vRealize Automation を使用して、仮想マシン、アプリケーション、カスタマイズされた IT サービスをさまざまなデータセンターやハイブリッドクラウドの環境で自動的に提供する方法について学ぶことができます。

オンプレミス システムとクラウド サービスの両方の管理方法について学習します。このコースでは、vRealize Automation Service Broker で複数のクラウドやプラットフォームからネイティブ形式のコンテンツを共通のカタログに集約する方法についても解説します。

また、VMware vRealize® Orchestrator™ を使用した vRealize Automation とその他のシステムとの連携、vRealize Automation を使用した Kubernetes システムの管理、その他のシステムの活用方法についても取り上げます。また、Terraform との統合と、SaltStack を構成管理ツールとして使用する方法についても学習します。

このコースでは多数のハンズオン ラボを予定しています。受講者は 5 日間のコースで 39 件のラボを実施します。

コースの目標

このコースを修了すると、次のことができるようになります。

- クラウド環境における vRealize Automation のアーキテクチャおよびユースケースについて理解する
- VMware とサードパーティの仮想インフラストラクチャとクラウド インフラストラクチャで vRealize Automation のエンティティを管理する
- クラウド アカウント、プロジェクト、フレーバー マッピング、イメージ マッピング、ネットワーク プロファイル、ストレージ プロファイル、ボリューム、タグ、サービスを構成して管理する
- クラウド テンプレートを作成、変更、管理、展開する
- Kubernetes クラスタに接続し、ネームスペースを管理する
- cloudConfig でサービスと仮想マシンをカスタマイズする
- Service Broker を構成して管理する
- ABX アクション、カスタム プロパティ、イベント ブローカー サブスクリプション、vRealize Orchestrator ワークフローを構成して管理する
- vRealize Orchestrator と連携する
- Lifecycle Configuration Manager を使用して vRealize Automation をインストールする
- Cloud Automation Services (Cloud Assembly および Code Stream) について理解する
- Cloud Assembly と Terraform および SaltStack を統合する
- ログと CLI コマンドを使用して vRealize Automation の監視とトラブルシューティングを行う

対象者

vRealize Automation の設計と実装を担当する上級システム管理者およびシステム インテグレーター

前提条件

このコースを受講するには、次のいずれかのコースを修了している必要があります。

- [VMware vSphere: Install, Configure, Manage \(VMware vSphere: インストール、構成、管理\)](#)
- [VMware vSphere: Fast Track \(VMware vSphere: 短期集中コース\)](#)

コマンドラインを使用した実務経験があることが推奨されます。

このコースでは、受講者が以下の作業を支援や指導なしで実行できることを前提としています。

- データセンターやフォルダなど、VMware vCenter Server® オブジェクトを作成する
- ウィザードまたはテンプレートを使用して仮想マシンを作成する
- 仮想マシンのハードウェアを変更する
- VMware vSphere® vMotion® を使用して仮想マシンを移行する
- VMware vSphere® Storage vMotion® を使用して仮想マシンを移行する
- リソース プールの vSphere DRS クラスタを構成および管理する
- VMware vSphere® High Availability クラスタを構成および管理する

上記の作業をすべて実行できない場合は、前提条件となっているコースのいずれかを修了してから、「VMware vRealize Automation: Install, Configure, Manage (VMware vRealize Automation: インストール、構成、管理)」コースに登録されることをおすすめします。

受講方法

- 教室開催
- ライブ オンライン
- [オンサイトトレーニング](#)

使用製品

- VMware vSphere® 7.01
- VMware vRealize Automation 8.3
- VMware vRealize Orchestrator 8.3
- VMware vRealize® Lifecycle Manager™ 8.3
- VMware NSX-T™ Data Center 3.1

コースのモジュール

1 コースについて

- 概要およびコースの流れ
- コースの目標

2 vRealize Automation の概要とアーキテクチャ

- vRealize Automation の目的と機能を理解する
- vRealize Automation のアーキテクチャについて理解する
- VMware Workspace ONE® Access™ の使用について理解する
- Kubernetes クラスタ、コンテナ、vRealize Automation サービスの関係について理解する
- vRealize Automation 8 クラスタ管理に使用する CLI コマンドについて理解する
- Cloud Assembly について理解する
- Service Broker について理解する
- Code Stream について理解する

3 vRealize Automation のインストール

- vRealize Automation のさまざまな展開タイプについて理解する
- vRealize Easy Installer の目的について理解する
- vRealize Automation のインストール プロセスを把握する

4 認証と認可

- Workspace ONE と Active Directory の統合に関連する手順を理解する
- Workspace ONE の機能を把握する
- vRealize Automation で利用できるユーザー ロールを把握する
- それぞれのユーザー ロールが実行する主なタスクを確認する
- カスタム ロールを定義する
- ブランディングおよびマルチテナンシーを構成する

5 基本的な初期構成

- クラウド アカウント、クラウド ゾーン、プロジェクト、フレーバー マッピング、イメージ マッピングの基本構成をすばやく作成する

6 VMware Cloud Templates

- 基本的なクラウド テンプレートを構成および展開する
- あらゆるクラウドで実行できるクラウド テンプレートを作成する
- cloudConfig を使用して、コマンドの実行、ソフトウェアのインストール、ユーザーの作成を行う
- 入力、変数、条件付き展開に YAML を使用する

7 タグとストレージの構成

- タグを構成する
- さまざまなタイプのタグについて理解する

- タグを管理する
- ストレージ プロファイルを構成する
- タグとストレージ プロファイルを使用する

8 NSX-T Data Center の統合

- NSX-T Data Center の機能とコースケースを把握する
- NSX-T Data Center のアーキテクチャとコンポーネントを理解する
- NSX-T Data Center と vRealize Automation を統合する
- vRealize Automation でサポートされるネットワーク プロファイルを確認する
- NSX-T Data Center コンポーネントを使用してマルチティア アプリケーション クラウド テンプレートを設計する
- 設計キャンバスで使用できるネットワークとセキュリティのオプションを確認する
- オンデマンドのネットワークとセキュリティ グループを作成および管理する
- NSX-T の導入後のアクションを構成する

9 パブリッククラウドとの連携

- VMware Cloud Foundation アカウントを構成して使用する
- AWS クラウド アカウントを構成して使用する
- Azure クラウド アカウントを構成して使用する
- Google Cloud Platform クラウド アカウントを構成して使用する

10 サービス ブローカーを使用したカタログ管理

- VMware Cloud Template™ をリリースする
- コンテンツ ソースとコンテンツ共有を定義する
- Service Broker のポリシー適用を定義する
- カタログ アイテムのカスタム フォームを使用する

11 vRealize Automation の拡張性

- 拡張性について理解する
- イベントトピックを使用する
- サブスクリプションを作成する
- vRealize Orchestrator ワークフローを呼び出す
- ABX アクションを作成する

12 Code Stream の使用

- Code Stream の概要
- CI/CD プロセス
- GitLab を Code Stream および Cloud Assembly と統合する
- Code Stream を使用してソフトウェアをインストールする

13 Terraform の使用

- Cloud Assembly を Terraform と統合する
- Terraform と VMware Cloud Template を使用する
- Terraform と Code Stream を使用する

14 Kubernetes クラスタの使用

- Kubernetes の概要
- 既存の Kubernetes クラスタに接続する
- VMware Tanzu™ Grid Integrated Edition を統合する
- カタログ アイテムとしてのスーパーバイザー ネームスペースを作成する

15 SaltStack を使用した構成管理

- vRealize Automation を使用した SaltStack の概要
- SaltStack をソフトウェアの展開に使用する
- SaltStack を構成管理に使用する
- SaltStack をイベント駆動型のオーケストレーションと使用する

16 vRealize Automation のトラブルシューティングと統合

- ログの格納場所
- アクティビティの使用
- 導入履歴の監視
- 基本的なトラブルシューティング
- CLI コマンド
- ログへの接続(VAMI コンソール)
- VMware vRealize® Log Insight™ との統合
- vRealize Operations との連携
- vRealize Automation 7.x の 8 への移行

お問い合わせ

このコースに関するご質問や登録方法については、
japan-education@vmware.com までお問い合わせ
ください。



VMware株式会社 〒108-0023 東京都港区芝浦 3-1-1 田町ステーションタワー N 18 階 www.vmware.com/jp

© 2021 VMware, Inc. All rights reserved. 本製品またはワークショップ資料は、米国および国際的著作権法および知的財産法によって保護されています。VMware 製品は、<https://www.vmware.com/download/patents.html> のリストに表示されている 1 件または複数の特許対象です。VMware は、米国およびその他の地域における VMware, Inc. の登録商標または商標です。他のすべての名称ならびに製品についての商標は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

VMware は、一般的に認められている業界基準と慣例を使用して妥当な方法で、ここで記載されているワークショップ サービスを提供することを保証します。上記明示保証は、VMware が提供するサービスおよび成果物、ならびにそれらのサービスおよび成果物から得られる結果に関する、明示、黙示、法定、その他のあらゆる保証(商品性に対する黙示保証および特定目的に対する適合性の黙示保証を含みます)に代わるものです。VMware は、お客様に対して特定または参照した、いかなる第三者のサービスまたは製品に対しても責任を負いません。本ワークショップにおいて提供される資料(以下「ワークショップ資料」といいます)の著作権は VMware に帰属します。VMware は、お客様が許諾を受けた VMware 製品についての社内での理解、利用、運用を促進する目的に限り、本ワークショップのお客様にワークショップ資料の使用および合理的な範囲でコピーを作成することを許諾します。前述の明示された場合を除き、本ワークショップの条件の下で許諾された知的財産権およびその他のいかなる許諾された権利を他者に譲渡することを禁止します。米国内のお客様の場合、サービスに関する VMware の契約当事者は、VMware, Inc. になります。米国外のお客様の場合、サービスに関する VMware の契約当事者は、VMware International Limited になります。